

令和5年度価値共創促進事業 選考結果

府中市価値共創促進事業選定委員会が行った令和5年度価値共創促進事業の選考結果は次のとおりです。

審査会	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	選定結果	採択にあたっての主な意見及び不採択の理由
1	第1回目 循環型再生アクリル板「リアライト」を使用したSDGs普及啓発事業	緑川化成工業株式会社	政策課	市が実施する「SDGsポスターコンクール」について、受賞作品を展示するための額縁を、アクリル板を再利用して制作するリアライト(再生アクリル板)で作成。こみを排出させない循環型製品で対応する。また、参加費として渡すフォトフレームにもリアライトで作成する。再資源したもので製品化されたものを使用することでSDGsの取組に合致すると共に、市民へのSDGs意識向上につながることを期待できる。	テーマ型	採択	【主な意見】 ・府中市と一緒に事業を行っていることをより市民に積極的にPRし、御社の取り組みが広がることを期待する。
2	第1回目 「ラッコルタ-創造素材ラボ-」による障害を越えた芸術交流	NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ	障害者福祉課	企業から提供された素材を使用したアーティストワークショップを行う。障害をはじめ「違い」をもつ人々と市民の垣根の経験を通して、改めて「コミュニケーション」のかたちとしての「表現」を見つめ直し、各参加者の気持ちを促す。ワークショップや勉強会、成果展示やメディア発信を通して、意識の変化の過程や結果を共有・普及していく。	フリー型	不採択	【不採択の理由】 審査項目【妥当性】費用対効果の視点での市の委託事業として妥当であるかの点数が低く全体の最低基準に満たなかったため。
3	第3回目 コミュニティバスデジタル化促進事業	RYDE株式会社	計画課	コミュニティバス「ちゅうバス」をRYDEPASSでデジタル化し、回遊の活性化と一元化されたデータ分析で持続的な利便性の向上を図る。	フリー型	採択	【採択理由】 バスを活用した高齢者の外出促進につながるなどフレイル予防に関する取組にも期待できる事業であるとともに、次年度以降の展開に期待して採択とする。 【主な意見】 地域公共交通の将来を検討するにあたり利用者情報の収集、商業との連携が必要と思われる。
4	第3回目 体験・体感で「心のバリアフリー」を楽しく知ろうーわかりあえる助けあえる街を目指してー	act1634府中	地域福祉推進課	市民が体験・体感するワークショップやまち歩き等を通して、市民が「心のバリアフリー」や「合理的配慮」を体験し、考えるきっかけを与え、楽しく学べるイベントを開催し、障害の特性などの理解を深めていく。 ①障害平等研修及びロービジョンカフェ ②点字ブロック探検隊&車いすde出かけてみよう ③目で見る講話	テーマ型	条件付採択	【採択理由】 合理的配慮の理解促進に繋がるそれ相応の事業内容であったため、採択とする。 【付帯条件】 実施内容の他に、バリアフリーマップ英訳版の作成について提案があったが、市担当課がバリアフリーマップの改定時期も鑑みて事業実施を計画しているため、この提案については、不採択とする。 実施内容のイベントに関しては、イベント参加者が固定的な参加者ではなく、より広く初めての方が参加でき、合理的配慮、心のバリアフリーの理解促進に繋がる仕組みづくり、仕掛けをするよう工夫すること。 【主な意見】 市だけでなく、幅広い市民・企業の連携が必要であり、市民活動団体が中心となり事業を行うことが、効果が高いと思われる。